

令和4年度 加東市の公共交通施策に係る取組状況について

1 路線バスの維持・確保及びルート等の見直し 計画書 p.96～97

路線バスの利用者確保及び東条地域と社地域の移動ルートの充実を図るため、神姫バス(株)と協議を行ってきた結果、令和5年4月1日から、神姫バス社三田線の久米経由が厚利経由に変更されることとなった。再編後のダイヤが利用しやすいものとなるよう、引き続き神姫バス(株)と協議を行っていく。

2 社市街地乗合タクシーの維持・拡充 計画書 p.98

更なる認知度の向上により利用促進を図るため、運行に使用する車両のラッピングを行った。また、利用者の利便性向上を図るため、新たな交通結節点として令和4年10月から供用を開始した加東バスターミナルに、「Bio 南ターミナル」停留所を増設し、乗り入れを開始した。



【乗合タクシーの利用状況】

	令和2年 7月～12月	令和3年 1月～3月	令和2年度 計	令和3年度	令和4年度 4月～1月
概要	7便/日 13停留所	5便/日 16停留所		5便/日 16停留所	5便/日 17停留所
運行日数	122日	60日	182日	243日	206日
利用者数	423人	228人	651人	1,138人	1,494人
1日当たり 利用者数	3.47人/日	3.80人/日	3.58人/日	4.68人/日	7.25人/日

3 自家用有償旅客運送（自主運行バス）の維持・拡充 計画書 p.99

きよみず線について、「平木公民館」～「半坂上」間をフリー降車区間とすることで、買い物利用で手荷物が多い利用者の利便性が向上した。

また、神姫バス社三田線の久米経由の廃止に伴い、米田地域の上久米地区、下久米地区、久米地区の移動手段がなくなることから、米田ふれあい線の同3地区への運行拡大について米田地区区長会と検討を進めている。あわせて、検討にあたり、同3地区の住民を対象にアンケート調査を実施した。

また、各路線において、加東市乗合タクシーと同様に令和4年10月から加東バスターミナルへの乗り入れを開始した。加えて、安全で確実に運行するため、運行会議で運行上の注意事項等を確認するとともに、加東警察署交通課による安全運転講習や、運行時に講師が同席し、運転技術等の確認を行う運転者講習を実施している。

【自家用有償旅客運送各路線の利用状況】

米田ふれあい線 (4便/日)	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (4月~1月)
運行日数	146日	143日	120日
利用者数	896人	706人	521人
1日当たり利用者数	6.14人/日	4.94人/日	4.34人/日

きよみず線 (6便/日)	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (4月~1月)
運行日数	97日	99日	83日
利用者数	399人	529人	563人
1日当たり利用者数	4.11人/日	5.34人/日	6.78人/日

とうじょうあいあい線 (4便/日)	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (4月~1月)
運行日数	97日	99日	83日
利用者数	269人	299人	354人
1日当たり利用者数	2.77人/日	3.02人/日	4.27人/日

福田ふくふく線 (4便/日)	令和3年度	令和4年度 (4月~1月)
運行日数	143日	123日
利用者数	615人	687人
1日当たり利用者数	4.30人/日	5.59人/日

4 地域の実情に応じた新たな移動手段の確保 計画書 p.100～101

買い物や通院のための移動手段の充実を図るため、東条学園小中学校のスクールバスを東条地域と社地域を繋ぐ定時定路線型交通として活用できるよう、運行ルートや運行ダイヤについて、交通事業者や教育委員会、警察等と協議・検討を行っている。今後は、運行地域との協議を行い、令和5年10月からの実証実験開始に向けて取り組んでいく。

また、高齢者等の地域内（旧町地域内）における移動手段を確保するため、デマンドタクシーの導入について、交通事業者及び福祉部局等と協議・検討を行っている。令和6年1月に開始予定の実証実験では、高齢者や障害者等を対象としたタクシー利用者の運賃補助型（利用者支援型）のデマンドタクシーを運行し、利用状況等を検証したうえで、利用者支援型の継続又は乗合型への移行を検討する。

5 バスターミナルにおける交通結節点機能の強化 計画書 p.103

新たな交通結節点として、令和4年10月から加東バスターミナルの供用を開始した。チラシの配布やイベントの開催により、加東バスターミナルを含むまちの拠点施設の認知度向上に取り組むとともに、バスターミナルに乗り入れる路線バスや高速バスの増便について、神姫バス(株)と協議を行っている。また、観光バス事業者への周知を行い、加東バスターミナルが観光バスの発着地となるよう利用促進に取り組んでいる。

6 交通結節点の利用環境の向上 計画書 p.104

JR 滝野駅の駐輪台数が増加していたことから、駐輪場の拡張工事を行った。また、夜間の駐輪場利用者の安全を確保するため、駐輪場内に照明を設置する。（3月工事予定）

【工事前】



【工事後】



7 バスロケーションシステム等を活用した利便性の向上 計画書 p.105

路線バス等の利用者が待合室内で路線バスや高速バス、加東市乗合タクシーの運行状況等が確認できるよう、加東バスターミナルに隣接するにぎわい交流施設「halK」内の待合交流ラウンジに、バスロケーションシステムの表示機を設置した。

8 タクシーの有効活用 計画書 p.107

福祉部局において、福祉タクシー制度の見直し・検討を行うため、福祉タクシー券の交付者を対象にアンケート調査を実施した。

【再掲】

高齢者等の地域内（旧町地域内）における移動手段を確保するため、デマンドタクシーの導入について、交通事業者及び福祉部局等と協議・検討を行っている。令和6年1月に開始予定の実証実験では、高齢者や障害者等を対象としたタクシー利用者の運賃補助型（利用者支援型）のデマンドタクシーを運行し、利用状況等を検証したうえで、利用者支援型の継続又は乗合型への移行を検討する。

9 利用しやすい料金体系の構築 計画書 p.108

令和4年4月から市内一律運賃制度を導入し、市内移動における路線バスの運賃（NicoPa カード利用時のみ）、加東市乗合タクシーの運賃及び自主運行バスの運賃を一律100円とした。また、市役所及びイオン社店サービスカウンターにおいて、NicoPa カードの販売を行い、公共交通の利用促進に取り組んだ。

【NicoPa カードの販売状況（R5.1.31 現在）】

販売場所	枚数
イオン社店	143枚
加東市役所	40枚

※加東市役所は令和4年3月から、イオン社店は同年4月から販売開始。

10 モビリティ・マネジメントの継続実施 計画書 p.110

公共交通ガイドブックを6月と10月の2回発行し、加東バスターミナルの供用開始に併せて発行した10月版は、全戸に配布した。また、従来のA4版を、携帯しやすいポケット型に変更した。

10月22日のhalK フェスにおいて神姫バス(株)に協力いただき、子ども向けのバス乗車体験イベントを開催し、大人と子どもを合わせて約200人が来場した。

市内の学校においては、11月24日に加東市立福田小学校の6年生を対象にしたバスの乗り方教室、12月2日に加東市立滝野中学校2年生を対象にした鉄道の乗り方教室を、それぞれ神姫バス(株)及び西日本旅客鉄道(株)のご協力により実施した。運賃の確認方法や支払い方法、インターネットでの時刻表の検索など、実際に公共交通を利用する場合に必要な知識について講義いただいた。

あわせて、福田小学校では、神姫バス(株)95周年事業の一環で、12月8日にバス車両のラッピングイベントが実施された。同事業は、神姫バス(株)が、コロナ禍で行動が制限されている子どもたちの思い出作りとともに、公共交通に親しんでほしいとの思いから企画されたもので、福田小学校6年生が、車体のラッピング箇所に、加東市の魅力がいっぱい詰まった絵を描きあげ、バスの乗り方教室とあわせて、子どもたちがバスを身近に感じることができる取組となった。

【福田小学校のバスの乗り方教室】



【滝野中学校の鉄道の乗り方教室】



【福田小学校で実施したラッピングバス】



※このラッピングバスは、R5年3月末頃まで運行。